

国内視察研修報告

令和5年11月26日(日)27日(月)の1泊2日で国内視察研修を行いました。コロナ禍前は、東アジア各国を対象とした2泊・3泊で中国・台湾・シンガポール・マレーシア・タイ・ベトナムなど海外視察研修を17年連続で行い、2017年10月にはロシア・ウラジオストックへも足を延ばしました。

感染症拡大や海外情勢の変化から、海外渡航は安全性が担保できないとして見合わせ、令和元年11月を最後に4年間視察研修を行いませんでした。

現時点でも中国をはじめとした海外渡航は難しく、令和2年と3年に計画断念した出雲・米子方面の視察研修を三度目の正直で開催できました。

県営名古屋空港を早朝に出発し、フライト約50分であっという間に出雲縁結び空港に着陸。このタイミングは正に八百萬の神々が出雲に参集する神在月(かみありつき:旧暦10月で、出雲以外では神無月)総勢25名が出雲大社本殿へ登壇、当協会会員各社の安全と商売繁盛を、お祓い・お神楽・ご祈祷の正式参拝で祈願。



出雲大社

岡谷会長に参列者を代表して玉串奉奠(たまぐしほうてん)をしていただきました。

出雲大社に隣接する古代出雲歴史博物館では、かつての出雲大社は高さ48mもあったと伝えられ、復元想像模型や出土した太い柱、大量の銅剣・銅鐸などかつては出雲が日本の中心であったと再認識する展示の数々を見た後には移動、昼食で郷土料理に舌鼓を打った後、



足立美術館

日本一の庭園と称される足立美術館でその美しさに感動、横山大観・橋本関雪・榊原紫峰の絵画、北大路魯山人の焼物など見どころ満載でそれぞれの美しさに触れました。一日目は1か所でたっぷり時間を取り視察は3か所で終了し、一路鳥取県米子市に向かいました。

米子のホテルでチェックインした後夕食まで少し時間があつたので、米子城址に登る人、旧国鉄米子鉄道管理局の建物に足を延ばす人、ホテルで大相撲九州場所千秋楽を観戦する人など各々時間を過ごした後、ホテル1Fロビー

に集合し、徒歩で海鮮料理のおいしい和食料理店に向かい席に着きました。



会長ご挨拶

岡谷会長にご挨拶いただいた後、乾杯を経て懇親夕食会開始、初参加の方々から自己紹介をしていただいたり名刺交換まだの人は名刺交換や歓談、また当日は参加者お二人が誕生日だったので会長発案によりささやかなケーキを用意、サプライズでお祝いしました。初参加の方々もすっかり溶け込み懇親が深まりました。

2日目はホテルで朝食を食べたあと寿製菓の工場見学。和菓子の製造過程をガラス越しに見学したり、米子城天守閣（明治期に解体済）を模した建物の展望台に上り米子市内や大山を眺めて過ごした。鳥取から島根に戻り安来市の和鋼博物館に到着。

ここは砂鉄や炭の原料となる山林の豊富な出雲地方で、江戸時代後半には日本全国の鉄総生産量の8割を占めたといわれる「たたら製鉄」で作られる「和鋼」の製造過程やその歴史を学ぶ場所。

日本刀を構えてそのずっしりとした重さに驚いたり、天秤ふいごを最若手の坂さんが動かし、博物館スタッフからすごく上手と褒められたりもありましたが、参加者はみな、たたら鉄の製造過程や、その歴史などスタッフの説明を熱心に聞き入っていました。



和鋼博物館



宍道湖のほとり

昼食に移動する前に宍道湖のほとりにバスを止め集合写真撮影、湖面は穏やかで天気良く気持ちがいい。

昼食は出雲名物鯛めしを賞味した後は玉造温泉街に移動、日帰り温泉に入る人、周辺を散策する人、ロビーラウンジで寛ぐ人それぞれ過ごしました。

松江城のお堀は、遊覧ボート（こたつ船）でぐるっと一周できる「堀川めぐり」がある。途中高さが十分でない橋をくぐる際には、乗客の安全のため屋根が下がってきます。炬燵のテーブルに頭を擦り付けるほど下げないと橋がくぐれない。風景だけでなく、船頭さんの名調子と合わせ一流のアトラクションとして楽しめました。堀川めぐりを3/4周したところが大手前広場となっており、そこが国宝松江城の入り口になっています。現存する木造12天守閣のうちの1つ、威風堂々とした外観で、中に入ると愛知県の犬山城に似た作りですが、犬山城より1フロアあたりは松江城の方が広いように感じました。



国宝松江城



山陰合同銀行本店

最後の視察地は宍道湖のほとりにそびえる島根県で一番高いビルの山陰合同銀行本店ビル。

訪問時はちょうど日没に近く、最上階展望台から宍道湖に沈む夕日を眺めることができると期待しましたが、あいにく西から天気が崩れてきて夕陽を拝むことはできませんでした。このビル建築時は宍道湖の景観が崩れると地元住民から猛反対、最上階の展望台を市民に一般開放するという事で認可が下りたとのこと。確かに展望フロアからは松江の町が一望でき、松江城天守閣と並び360度ビューが楽しめる。全ての視察日程が終了し、出雲縁結び空港にバスで向かい始めたところで雨が降ってきました。参加者の皆さんの強運

か？八百萬の神様のご利益か？全過程が終了するまで天気が保ってくれたことにホッとしました。帰りは県営名古屋空港まで空路約55分で、19時40分に着陸し荷物受取り後解散しました。久しぶりの視察研修でしたが充実し、楽しんで頂けたと思います（中村 記）